

投稿年月日	平成 21 年 12 月 15 日	投稿者	市内在住 男性
ご意見・ご提案 内 容	<p>水道管取替え工事の説明において、アスベストセメント管の取替えとありましたが、アスベストと言えば、発ガン性が疑われる物質であります。その取り扱いには最大の注意を払って行われると思います。管の切断の折の灰燼が舞い上がったり、水道に混じる事はないでしょうか。車で通行しても窓からチリは入り込んで参ります。そのことについての周知はされていますか。その心配はないのでしょうか。</p>		
回 答	<p>今回の水道管取替え工事は、現在使用されている「石綿セメント管」から「耐震型鋳鉄管」への取替え工事を行うものです。</p> <p>この工事では、先行工事として給配水を仮設配管に完全に切替ってから、既設の石綿セメント管の撤去を行っていきますので粉塵等が水に混じることはありません。また、石綿セメント管はボルト等により接合されているため、そのボルトを外しながら撤去します。そのため実際に石綿セメント管を切断することはありません。さらに、撤去、運搬作業時には、万一の安全対策のため石綿セメント管に水を掛けながら行います。ご質問のような水道水への混入や粉塵の舞い上がりはないものと思われます。</p> <p>以上のように石綿管の撤去、運搬等の取り扱いについては施工業者に十分注意するよう指示、徹底しております。</p>		
担当課	水道部 上水道課		